

恵庭市長定例記者会見（R7.10.14）



お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第3回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、令和6年度決算を認定いただきましたこと

に、まずもって感謝いたします。また、「令和7年度 一般会計補正予算」についても全ての議案についてご承認いただき、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

初めに、「えにわ応援商品券2025」についてであります。

物価高騰の影響を受けた生活者に対する支援を目的として、「えにわ応援商品券2025」事業を実施いたします。

対象は、8月31日時点で恵庭市に住民票がある方すべてとなっており、商品券の発送は、11月上旬から下旬頃の予定であります。

商品券は受け取り後、順次ご利用いただけます。

さらに、9月以降に出生及び転入された方への対応といたしまして、12月31日を基準日として対象者を再抽出し、令和8年2月上旬頃に対象世帯へ商品券を発送する予定であります。

なお、利用期間につきましては、令和8年3月31日までとなっております。

2点目は、「市営駐車場の一部変更」についてであります。

恵庭駅東口・西口駐車場の利用者が多いことから、市が所有する黄金相生跨線橋の東側の高架下を活用し、月極の市営駐車場として24台分整備し、12月から利用を開始いたします。

契約期間は1年間ですが、初回の契約のみ令和7年12月から令和9年3月までの1年4カ月となります。

また、島松地区複合施設の建設工事に伴い、今月から島松駅横駐車場の駐車台数が減少していることから、市営駐車場の指定管理者が近隣に月極駐車場を14台分整備し、11月から利用を開始いたします。

料金は、どちらも現行の定期駐車券と同額の月額5千円となります。

3点目は、「**ひぐまの出没状況**」についてであります。

今秋は、北海道全域でヒグマの出没が増加傾向となっており、人身事故も複数発生しております。

恵庭市においても、盤尻地区を中心にクマの出没に関する情報が例年よりも多く寄せられているところです。

8月23日には、緑のふるさと森林公園内の監視カメラでクマが確認されたことから、8月24日から9月1日まで臨時休園といたしました。

さらに、10月1日には盤尻パークゴルフ場周辺でクマの目撃情報があり、利用者の安全を最優先に、10月2日と3日の両日を臨時閉鎖し、安全確認を実施いたしました。

その後、異常がないことを確認のうえ、10月4日より再開しております。

もし、ヒグマを目撃したりフンや足跡を発見したりした場合には、発見した地域の自治体や警察へのご連絡をお願いいたします。

また、現在、「秋のヒグマ注意特別期間（令和7年8月22日から11月30日まで）」となっております。これから行楽シーズンを迎え、山菜採りなどで山に入る機会が増えると思いますので、事前にホームページなどでヒグマの出没情報を確認するなど、ヒグマに遭遇しない対策を十分に行ってください。

4点目は、「**地域おこし協力隊員の任用**」についてであります。

本市は、60年以上にわたり「花のまちづくり」に取り組み、令和4年のガーデンフェスタ北海道2022では、市民主体の活動が全国的に注目されました。

こうした活動を一過性で終わらせず、今後も持続的に支えるための体制整備が課題となっておりますことから、その対応策として、恵庭市では初めて地域おこし協力隊員を任用することといたしました。

採用は11月1日付で、関東地方在住の40歳代男性です。協力隊員は、市民・団体・行政をつなぐ“コンシェルジュ的な役割”を担い、相談窓口の運営や花の拠点「はなふる」の景観管理、市民団体の活動支援に取り組みます。

国の財政支援を受けつつ最長３年間活動でき、任期後の定住や起業にもつながる仕組みを備えており、花のまちづくりを次世代へ継承・発展させる力になることを期待しております。

５点目は、「えにわハッピーハロウィン２０２５の開催」についてであります。

えにわハッピーハロウィン２０２５は、１０月２５日土曜日、午前１０時３０分から午後８時まで、花の拠点「はなふる」を会場に開催されます。

当日は、約２０の飲食店が出店するハロウィンマルシェをはじめ、ジャック・オー・ランタンの製作体験、スタンプラリー、仮装パレードやお菓子まきなど、子どもから大人まで楽しめる多彩なプログラムが予定されています。また、はなふるセンターハウスでは「えにわマルシェ」や「えにワークショップフェス」も同時開催され、多くの市民や来訪者に秋の一日を満喫していただける内容となっています。

本イベントは、えにわハッピーハロウィン実行委員会を中心に、地域の企業や団体、学校の皆さまと連携して実施されており、本市の秋の恒例行事として定着してまいりました。

ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、仮装や交流を通じて恵庭の秋を盛り上げていただきたいと思います。

６点目は、「令和７年度こども誰でも通園制度の事業開始」についてであります。

本事業は、保護者の就労の有無にかかわらず、未就園のお子さんが保育所等を利用できる制度です。子どもが家族以外の人と関わる機会となり、保護者にとっても保育士に子育ての相談ができ、家庭とは異なる環境で過ごす姿を見ることで、子どもの成長をとらえることができる機会にもなります。

本市では、１０月１日より、すみれ保育園、クラーク幼稚園、認定子ども園さくら、すえひろスマイル保育園の市内４園で開始いたしました。

対象は、恵庭市に住民票があり、現在、保育所等に通っていない生後６カ月から３歳未満のお子さんです。

月１０時間まで利用することができ、保護者のリフレッシュや、同年齢の子どもとの交流機会づくりなど、時間単位で柔軟に活用できます。

利用にあたっては、事前に市への申請が必要となります。詳細は、市ホームページでご確認ください。

７点目は、「救急安心センターさっぽろ」についてであります。

急な病気やけがをしたときの専門相談窓口の拡大策として、１０月から市民の救急医療相談に看護師が対応する電話相談窓口「救急安心センターさっぽろ事業」に参加しております。

急に具合が悪くなったときなどは、＃７１１９に電話をかけることで、２４時間３６５日救急相談や適切な医療機関の案内を受けることができますので、ぜひご活用ください。

８点目は、「**札幌圏消防指令センター運用開始**」についてであります。

本事業は総務省が推進する「市町村の消防の連携・協力」の方策である消防指令業務の共同運用を石狩振興局管内の６消防本部で実施するものであります。

運用は札幌市を受託団体とした事務委託方式にて行い、行財政上の効果、応援受援体制の強化など、住民サービス向上の効果を見込んでおります。

８月２６日には、札幌市消防局において完成披露式を開催いたしました。

運用開始については、９月２日に札幌市から順次緊急通報回線切り替えを行い、恵庭市は９月１８日に切り替え完了、９月１９日の石狩地区の切り替えをもって、札幌圏全体の運用を開始しております。

９点目は、「**マイナ救急の実施**」についてであります。

マイナ救急は、傷病者の同意を得た上で救急隊員がマイナ保険証を読み取り、病院選定等に必要な情報を把握することにより、救急業務の円滑化を図ることを目的とした取り組みです。

全国５，３３４隊の救急隊を対象に１０月１日より実証事業が始まり、本市では３隊の救急隊が実施しております。

傷病者情報の把握が困難な事案や、お薬手帳を所持していない場合など、情報取得に苦慮する場面では、マイナ保険証の読み取りにより、情報取得の効率化や搬送先医療機関との正確な情報共有が可能となります。

今後救急現場において、救急隊がマイナンバーカードの提示を求める場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

●質疑応答

発表項目について

なし

その他について

- （記者）日本ハムファイターズ２軍施設移転における、球団や道のサポートチームとの協議の進捗状況は。
- （市長）球団とは協議を進めているが、具体的な条件は提示されていないため、現段階で伝えられる情報はない。サポートチームについては特にアプローチはしていない。必要に応じてお願いすることもあると考えている。
- （記者）誘致に向けた思いを聞かせて欲しい。
- （市長）期成会による署名活動などの協力もあり、ぜひとも誘致したいという強い思いを持っている。
- （記者）１１月に市長選を控え、４期目の振り返りや公約の達成状況は。
- （市長）４期目に掲げた公約については、すべて手掛けている状況。進めてこられたのは、市民の皆さんの理解によるところが大きい。特に全国規模のイベントであるガーデンフェスタ北海道２０２２の開催は、市民の皆さんによる来場者のおもてなしなど、さまざまな協力があつた。イベントを成功させることができ、市民の皆さんにはとても助けられ、感謝している。
- （記者）市長選に向けた思いを聞かせて欲しい。
- （市長）福祉部門では重層的支援事業が準備段階で、来年度より本格実施となる。どの窓口に行っても相談できるような体制づくりをしていきたい。また、現在策定中の総合計画については、市民の皆さんのさまざまな意見を反映させたものが完成する。この計画に基づいた市政運営を進めていきたい。まだまだ頑張れると意欲を持って立候補を決意した。

以 上